

平成24年度

事務事業評価表(平成23年度の実績評価)

記入年月日

平成 24 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名, 区分, 事務事業No., 課内No., 政策体系, 総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 財務会計上の位置付け, 事業期間, 単年度のみ, 単年度繰返し, 期間限定複数年度.

[Do] 1. 事務事業の現状把握

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】
・青少年問題協議会法(妙)昭和28年法律第83号第1条により、市町村に青少年育成問題協議会を置くことができる。このことから各市町村で同協議会が設置されたと思う。内容は、青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策の樹立、適切な実施を期する為に、必要な関係行政機関相互の連絡調整を図り、当該地方公共団体の長・その区域内にある関係行政機関に対し、協議会は意見・具申できる。
【担当が行う業務の手順】
・委員の委嘱、委員会の開催、青少年を取り巻く状況の報告、問題提起。意見聴取
【事業費の内訳】
・委員報酬

(1) 事務事業の目的

Table with 4 columns: ①手段(23年度 実際に行った主な活動), ②対象(誰、何を対象にしているのか), ③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか), ④結果(どんな結果に結び付けるのか). Includes sub-headers for ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

(2) 指標値の推移

Table with columns: 区分, 単位, 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(実績), 23年度(実績), 24年度(計画), 25年度(計画), 28年度(目標). Rows include ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table with columns: 区分, 単位, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 24年度, 25年度, 28年度. Rows include 事業費内訳 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源) and 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計).

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

・昭和28年に戦後の混乱の中で、青少年の起こす様々な問題が多発するなど社会問題となり、法律が制定された。近年の情報化社会の進展に伴い、触法少年の増加、低年齢化が進んでいる。また、地域的な結びつきが弱くなり、子ども達を地域で見守る事が希薄になっている。
・性風俗に関する記事やビデオ等が氾濫する等、有害図書子ども達が簡単に入手できるようになってきているが、有害図書販売機設置は市内に1箇所と減っている。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・青少年の健全育成の推進を図る要望はあるが、青少年健全育成団体との重複活動との意見がある。保護司会より、青少年の健全育成のために、各種関係団体との情報交換の場を設置する要望がある。

事務事業名	青少年育成問題協議会運営事業	事務事業No.	30333459	所属課	生涯学習課
-------	----------------	---------	----------	-----	-------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) ・青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的施策について調査及び審議を行い、市や関係行政機関に対し、意見を述べる事により、青少年の健全育成に寄与する。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) ・青少年の健全育成に関しては、行政・市民・警察が今日の青少年の抱える問題に取り組むことは有効な手段である。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?) ・青少年の問題に対する事業であり、限定・拡充の余地はない。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) ・青少年の問題に対し、関係行政機関相互の連絡調整を図る事が協議会の所掌事務の1つであるため、まずは協議会を再開させる必要がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 青少年の健全育成及び少年犯罪の未然防止には各種関係機関団体等の連携を密にする必要があり、情報交換の場は本市には本協議会しかないとする。 <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> → 具体的な手段、事務事業名 _____ 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> ・犯罪や非行を取り締まることは、他の事業でも行われている。 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)) ・青少年問題協議会委員の委嘱又は委員会の開催がないので事業費は使用していない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) ・青少年問題協議会委員の委嘱又は委員会の開催がないので事業費は使用していない。 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) ・青少年の健全育成は全市民に係わる問題で、受益機会、費用負担の余地はない。 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・数年来、大きな問題が生じていなかったが、一昨年の青少年による放火事件が生じたことにより、本年は委員の委嘱及び委員会の開催を予定し、関係機関の情報交換を行っていく。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(3)-1 改革改善策 より実効性のある団体とするため、委員数を少人数にとどめたい。																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 青少年犯罪の性格上、会議の議事内容等の守秘義務が生じる。																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項